

ぬまたっ子

～ 『自立』 『共生』 『蛭雪』 ～

沼田学園がめざすもの

沼田学園長 疋田 博和

現在、子ども達を取り巻く社会環境は大きく変化しています。人口の減少と少子高齢化、AIやICTの進化、グローバル化、地域コミュニティ機能の低下などが課題として提起され、将来を支える人材の育成を担う教育の役割がますます重要となっています。

このような中、沼田町では、幼児教育と小学校から中学校までの9年間の義務教育を一体として捉え、幼・小・中・地域関係者が互いに連携し、教育の方向性を共有して「沼田っ子の15歳の姿」を念頭に教育内容の充実を図るため平成30年4月に小中一貫校「沼田学園」を開園しております。

具体的には、認定こども園・小学校・中学校の校種間や保護者・地域との「連携」を更に強化すること。就学前から小学校・小学校から中学校の接続部分において、あらゆる観点から配慮し、接続をよりスムーズにすること。強靱な連携力を生かしながら、学校・家庭・地域との絆を深め、校種の違いを超えて協働して教育を行う連続した一貫教育で「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことをめざします。

令和元年度の学園の＜重点＞は、＜子ども達に「沼田っ子でよかった～」と言ってもらえる教育活動の推進＞です。

校訓

じりっ
「自立」

きょうせい
「共生」

けいせつ
「蛭雪」

学園教育目標

【知】かしこく知性を高める
【徳】なかよく情操豊かに
【体】心身たくましく

研究主題

「自ら進んで考え、
学び合う児童・生徒の育成」
～沼田スタイルを活かした授業づくり～

具体的な取組

- 小中教員による専門的乗り入れ授業の実践
- 学園運動会、小中合同の行事の実施
- 6年生の中学校登校
- 家庭と連携した望ましい生活習慣、家庭学習の定着
- 沼田の教育資源を積極的に活用した「ふるさと沼田学習」の実施
- 小中をつなぐ授業スタイル・学習規律の確立
- 小中での合同教員研修 etc.

町教育委員会・認定こども園・小学校・中学校の絆を深め、地域・保護者の皆様と手を携えて学園の教育発展・充実に努めてまいります。



沼田学園運動会

沼田学園では、学園になる前の平成27年から『小中合同運動会』として小学校、中学校の体育行事を一緒に行ってきました。

合同で行うにあたり、それまでの各校で設定していた“ねらい”に加え、ピア・サポート的な視点を新たに設定しました（①小学生は中学生の強さ、優しさに触れ、親しみや憧れの気持ちを持つ、②中学生は、年少者へのいたわりの気持ちを持ち、自己有用感を育む）。これにより他校では経験できない、一貫校だからこそ取り組める行事となっています。

学園として2年目となる今年も、発達段階に応じた種目はもちろんのこと、伝統種目として小学生と中学生が一緒になって行う競技（『デカパンリレー』、『とんとんトンネル』）が実施されました。

今年度は赤組が優勝しましたが、競技だけでなく係活動や応援など様々な場面で、児童生徒一人ひとりが輝いた運動会となりました。

ピア・サポート：仲間や同輩が相互に支え合い課題解決していく取組。この取組によって自尊感情を高め、自己有用感を育成していくことにつながっていきます。



開会式



伝統種目：デカパンリレー



中3 運命走：まっしろしろすけ出ておいで！



小1 個人：50メートル走



中学団体：みんなでジャン



小学団体：綱引き



伝統種目：とんとんトンネ

運動会の開催時期については様々なご意見を頂いておりますが、各校の行事等の兼ね合いから、開催日を5月の最終土曜日としております。ご理解のほどよろしくお願い致します。